



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月13日

上場会社名 藤井産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9906 URL http://www.fujii.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 昌一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 渡邊 純一 TEL 028(662)6018
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 33,400 | △0.8 | 1,015 | △11.0 | 1,281 | △9.8 | 729 | △13.2 |
| 30年3月期第2四半期 | 33,675 | 11.4 | 1,140 | 73.4 | 1,420 | 55.4 | 840 | 56.9 |

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 722百万円 (△32.6%) 30年3月期第2四半期 1,072百万円 (61.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 86.16 | — |
| 30年3月期第2四半期 | 99.29 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 45,057 | 24,162 | 50.0 | 2,660.31 |
| 30年3月期 | 46,633 | 23,755 | 47.4 | 2,614.48 |

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 22,526百万円 30年3月期 22,138百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 15.00 | — | 33.00 | 48.00 |
| 31年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 31年3月期(予想) | — | — | — | 30.00 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 75,000 | 4.4 | 2,600 | △2.2 | 3,000 | △4.9 | 1,900 | △5.7 | 224.38 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年3月期2Q | 10,010,000株 | 30年3月期 | 10,010,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期2Q | 1,542,230株 | 30年3月期 | 1,542,230株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年3月期2Q | 8,467,770株 | 30年3月期2Q | 8,467,770株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 3. その他 | 10 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで景気は緩やかな回復が続いておりますが、西日本豪雨や台風・地震等の相次ぐ自然災害による物流と生産の滞り等の影響も懸念されております。一方、世界経済は米中貿易摩擦の激化により、先行きに不透明感が増しております。

当社グループの属する卸売業界及び建設業界における業況は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備、大都市圏における再開発事業が大きな需要の盛り上がりとなっております。また、栃木県内においても、国民体育大会へ向けた総合スポーツゾーンの整備、公共建物の建て替え需要、大型工場の進出等が景気押し上げの要因となり、受注環境は良好な状況となっております。一方、深刻化する技術者や労働力不足、受注価格競争、物流コストの増加など、取りまく環境は厳しい状況が続くものと思われまます。

このような業況のもと、当社グループは、引き続き首都圏を中心にエリア拡大、環境ビジネス、ソリューション営業の強化に向けた取り組みを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結成績は、売上高334億0百万円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益12億81百万円（前年同四半期比9.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億29百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(電設資材)

空調機器は猛暑の影響により順調に推移しましたが、関係会社の売上や通信工事が伸び悩み、前期を下回る売上高となりました。この結果、売上高は156億48百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

(産業システム)

機器制御は、機械装置、医療機器、半導体関連企業を中心に主力製品の販売や設備更新需要が堅調に推移し、前期並みの売上高となりました。情報システムは、文教向けICT機器更新案件が順調に推移し、前期を上回る売上高となりました。設備システムは、水戸地区及び東北地区の大型案件が順調に伸び、前期を上回る売上高となりました。この結果、売上高は63億48百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

(施工)

建設資材工事は、栃木県内の大型工事案件や首都圏が好調に推移し前期を上回る売上高となりました。総合建築工事は、大型建築案件の着工遅れの影響があり前期を下回る売上高となりました。コンクリート圧送工事は、受注が順調に推移し前期を上回る売上高となりました。この結果、売上高は85億17百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(土木建設機械)

土木建設機械販売は、新車販売が昨年度の排ガス規制に伴う駆込み需要の反動減の影響が大きく、前期を下回る売上高となりました。レンタルは、依然として価格競争が激しく前期を下回る売上高となりました。メンテナンスサービスは業務改善の取り組みが奏功し前期を上回る売上高となりました。この結果、売上高は26億45百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

(再生可能エネルギー発電)

栃木県内4ヶ所のメガソーラー発電施設、栃木県屋根貸し事業所の発電施設及び支店・営業所の発電施設の売電収入は天候の影響もありましたが、ほぼ前年並みの発電量となりました。この結果、売上高は2億40百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15億76百万円減少し、450億57百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度に比べ14億99百万円減少し、344億14百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度に比べ76百万円減少し、106億42百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度に比べ20億86百万円減少し、191億53百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、前連結会計年度に比べ1億4百万円増加し、17億41百万円となりました。なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加し、241億62百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成30年5月11日公表の業績予想から変更しておりません。なお、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,626,591 | 13,697,220 |
| 受取手形及び売掛金 | 20,685,713 | 17,443,389 |
| 商品 | 1,719,071 | 1,840,048 |
| 未成工事支出金 | 774,557 | 1,165,909 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,533 | 1,770 |
| その他 | 219,382 | 360,928 |
| 貸倒引当金 | △112,596 | △94,744 |
| 流動資産合計 | 35,914,252 | 34,414,522 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,538,187 | 1,535,967 |
| 土地 | 3,056,887 | 3,069,036 |
| その他（純額） | 1,713,721 | 1,680,914 |
| 有形固定資産合計 | 6,308,796 | 6,285,918 |
| 無形固定資産 | 80,081 | 77,109 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,164,834 | 3,090,301 |
| その他 | 1,291,226 | 1,311,990 |
| 貸倒引当金 | △125,617 | △122,841 |
| 投資その他の資産合計 | 4,330,442 | 4,279,450 |
| 固定資産合計 | 10,719,320 | 10,642,478 |
| 資産合計 | 46,633,573 | 45,057,001 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 15,680,844 | 13,434,015 |
| 短期借入金 | 2,650,000 | 2,600,000 |
| 未払法人税等 | 534,683 | 494,161 |
| 賞与引当金 | 749,673 | 668,733 |
| 役員賞与引当金 | 105,400 | 45,916 |
| その他 | 1,519,674 | 1,910,576 |
| 流動負債合計 | 21,240,275 | 19,153,403 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 246,214 | 235,976 |
| 退職給付に係る負債 | 955,869 | 989,990 |
| その他 | 435,231 | 515,601 |
| 固定負債合計 | 1,637,314 | 1,741,568 |
| 負債合計 | 22,877,589 | 20,894,971 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,883,650 | 1,883,650 |
| 資本剰余金 | 2,065,090 | 2,065,090 |
| 利益剰余金 | 18,294,224 | 18,744,370 |
| 自己株式 | △948,414 | △948,414 |
| 株主資本合計 | 21,294,550 | 21,744,696 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 857,608 | 797,132 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △13,362 | △14,935 |
| その他の包括利益累計額合計 | 844,246 | 782,197 |
| 非支配株主持分 | 1,617,186 | 1,635,136 |
| 純資産合計 | 23,755,983 | 24,162,029 |
| 負債純資産合計 | 46,633,573 | 45,057,001 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 33,675,659 | 33,400,052 |
| 売上原価 | 28,428,635 | 28,199,102 |
| 売上総利益 | 5,247,024 | 5,200,950 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,106,468 | 4,185,519 |
| 営業利益 | 1,140,556 | 1,015,430 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,195 | 2,877 |
| 受取配当金 | 32,032 | 41,357 |
| 仕入割引 | 142,387 | 140,165 |
| 受取賃貸料 | 24,893 | 24,749 |
| 持分法による投資利益 | 16,868 | 13,163 |
| 貸倒引当金戻入額 | 36,850 | 19,841 |
| その他 | 55,323 | 64,954 |
| 営業外収益合計 | 311,551 | 307,109 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,228 | 4,632 |
| 売上割引 | 12,908 | 10,100 |
| 賃貸費用 | 8,826 | 8,365 |
| その他 | 5,282 | 17,605 |
| 営業外費用合計 | 31,244 | 40,704 |
| 経常利益 | 1,420,863 | 1,281,835 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,420,863 | 1,281,835 |
| 法人税等 | 517,916 | 490,015 |
| 四半期純利益 | 902,946 | 791,820 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 62,143 | 62,237 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 840,803 | 729,582 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 902,946 | 791,820 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 157,896 | △66,654 |
| 退職給付に係る調整額 | 902 | △1,573 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 10,539 | △910 |
| その他の包括利益合計 | 169,338 | △69,137 |
| 四半期包括利益 | 1,072,285 | 722,682 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 986,790 | 667,533 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 85,494 | 55,149 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,420,863 | 1,281,835 |
| 減価償却費 | 199,081 | 181,899 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △36,850 | △21,829 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △118,387 | △80,939 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △47,825 | △59,483 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 22,330 | 31,858 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △39,418 | △10,238 |
| 受取利息及び受取配当金 | △35,227 | △44,235 |
| 支払利息 | 4,228 | 4,632 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △16,868 | △13,163 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 5,390,978 | 3,243,017 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △547,835 | △512,565 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4,354,369 | △2,247,569 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 373,578 | 395,759 |
| その他 | △70,239 | △92,065 |
| 小計 | 2,144,039 | 2,056,913 |
| 利息及び配当金の受取額 | 36,379 | 45,387 |
| 利息の支払額 | △4,200 | △4,796 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △351,804 | △487,511 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,824,414 | 1,609,992 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △106,606 | △176,489 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,084 | 22,326 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10,942 | △11,881 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,130 | △4,980 |
| その他 | △1,485 | △1,701 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △121,080 | △172,726 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 40,000 | △50,000 |
| 配当金の支払額 | △254,033 | △279,436 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △30,800 | △37,200 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △244,833 | △366,636 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,458,501 | 1,070,629 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,813,568 | 12,626,591 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,272,070 | 13,697,220 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|
| | 電設資材 | 産業システム | 施工 | 土木建設機械 | 再生可能エネルギー発電 | 合計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,841,303 | 6,015,659 | 8,684,734 | 2,892,281 | 241,680 | 33,675,659 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 10,348 | 19,263 | 1,847 | 172 | — | 31,632 |
| 計 | 15,851,652 | 6,034,923 | 8,686,581 | 2,892,454 | 241,680 | 33,707,292 |
| セグメント利益 | 287,982 | 239,118 | 598,493 | 211,059 | 124,834 | 1,461,488 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,461,488 |
| 持分法による投資利益 | 16,868 |
| 配賦不能全社損益（注） | △59,167 |
| その他の調整額 | 1,673 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,420,863 |

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | |
|-------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|
| | 電設資材 | 産業システム | 施工 | 土木建設機械 | 再生可能エネルギー発電 | 合計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,648,151 | 6,348,433 | 8,517,685 | 2,645,616 | 240,165 | 33,400,052 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 19,718 | 24,432 | 1,466 | 123 | — | 45,739 |
| 計 | 15,667,869 | 6,372,865 | 8,519,151 | 2,645,739 | 240,165 | 33,445,792 |
| セグメント利益 | 238,610 | 295,798 | 412,640 | 208,794 | 124,375 | 1,280,218 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,280,218 |
| 持分法による投資利益 | 13,163 |
| 配賦不能全社損益（注） | △12,804 |
| その他の調整額 | 1,258 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,281,835 |

（注）配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。